

# ユーザーズマニュアル

USB3.2 Gen2 RAID ケース(2.5 インチ HDD/SSD 2 台用・10Gbps 対応)  
型番：RS-EC22-U31R

第1.0a版

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本紙は、本製品を正しく安全にお使いいただくための取り扱い方法、使用上の注意等について説明するものです。ご使用前に必ず本紙をよくお読みください。また、お読みになった後も本紙は大切に保管してください。

※本文の記載内容(仕様、名称、画面など)はバージョンアップなどによって変更されている場合があります。

## ■ 内容物 (7点) をご確認ください

- ① 本体
  - ② USB Type-Aケーブル 約50cm (10Gbps対応)
  - ③ USB Type-Cケーブル 約50cm (10Gbps対応)
  - ④ ACアダプター
  - ⑤ HDD マウントユニット x2 (本体に装着されています)
  - ⑥ HDD 固定ネジ x8
  - ⑦ ユーザーズマニュアル (本紙・保証書つき)
- 不足がある場合は、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。

## 保証書

型番 RS-EC22-U31R

シリアルNo.

ご購入年月日より1年間

保証期間  
ご購入日をご記入いただけない場合、保証規定内容に基づき、シリアルNo.より算出される期間とします。詳しくは裏面をご覧ください。

ご氏名

ご住所

TEL. — —

法人名

ご購入日 年 月 日

販売店名

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本保証書はご購入日から上記保証期間中に故障が発生した場合、保証規定内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。詳細は裏面をご覧ください。修理の際は必ず本保証書をご提示ください。本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

ご記入いただいたお客様の個人情報は、サポート業務の目的のみに使用します。弊社の個人情報取扱に関する詳細は、弊社Webサイトをご覧ください。 <https://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>

ラトックシステム株式会社  
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14

本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

## ■ 動作環境

- 対応パソコン USB3.2 Gen1(5Gbps)/Gen2(10Gbps) 対応の USB Type-A もしくは Type-C ポートを装備した Windows PC または Mac 32 ビット /64 ビット両対応
- 対応OS 各 OS の最新バージョンにアップデートしてご使用ください  
・ Windows 10  
・ macOS 10.12 (Sierra)以降
- 対応ディスク 2.5 インチ SATA HDD/SSD/SSHD ※7mm/9.5mm/12.5mm 厚に対応しています。

最新情報は弊社ホームページをご参照ください。 <https://www.ratocsystems.com/>

## ■ 使用できるRAIDモード

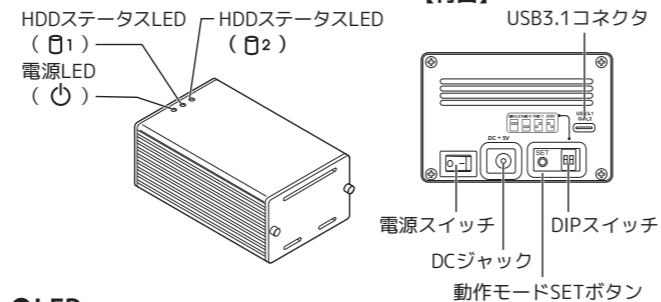
- RAID1 (ミラーリング) 2台のHDDへ同時に書き込みをおこない、保存と同時にバックアップを作成します。HDD故障時は、HDDを交換すると自動的にリビルドを開始します。  
※リビルド中も、正常HDDにアクセスしてデータの読み書きをおこなうことができます。
- RAIDO (ストライピング) 2台の同容量HDDを、1台の高速・大容量HDDとして使用できます。
- JBOD (スパンニング) 2台のHDDをまとめて、1台の大容量HDDとして使用できます。
- SINGLE (HDD個別使用) 2台のHDDを個々のドライブとして使用できます。1台のみ装着することも可能です。

## ■ 使用上の注意

- ・ USB3.2 Gen2(10Gbps)のパフォーマンスを最大限に発揮するには、USB3.2 Gen2 対応のインターフェイスに接続する必要があります。
- ・ RAID0、RAID1モードで使用する場合、同一メーカー、同一型番のHDDを使用されることをお勧めします。
- ・ リビルド中は転送速度が低下します。
- ・ ホットスワップには対応していません。ディスク故障や交換時は、本製品の電源をOFFにしたあとディスクを交換してください。
- ・ SINGLEモードでの使用時、1台のみを装着することも可能ですが、装着していない側のステータスLEDが赤色点灯します。
- ・ RAID1からSINGLEモードへ動作モードを変更する場合は、一度、RAIDOもしくはJBODへ変更する必要があります。
- ・ 接続したディスクからのOS起動はできません。
- ・ 弊社製RAID監視マネージャーは使用できません。

## ■ 各部名称・LED

### ●本体



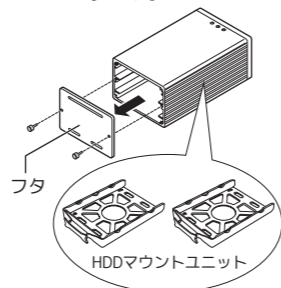
### ●LED

| 電源LED (青) | 状態                            | HDDステータスLED | 状態        |
|-----------|-------------------------------|-------------|-----------|
| ● 点灯      | 電源ON                          | ● 青点滅       | アクセス中     |
| ○ 消灯      | 電源OFF                         | ● ゆっくり青点滅   | リビルド中     |
| ○ 消灯      | 未接続 (デバイスの取り出し済み、もしくはケーブル未接続) | ● 赤点灯       | HDD異常/未装着 |
| ● 青点灯     | 正常動作                          |             |           |

## 1 HDD の取り付け

### 1 フタを取り外し、HDDマウントユニットを取り出す

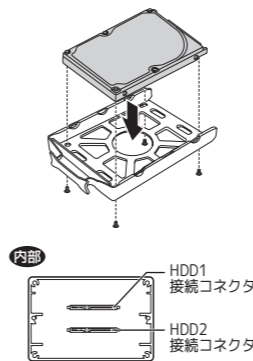
- ① 前面の固定ネジを外して、フタを取り外します。
- ② 内部のHDDマウントユニットを取り出します。



## 2 HDDを取り付ける

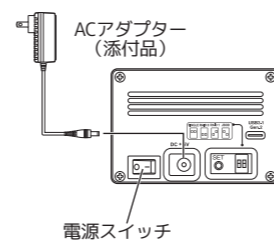
### ⚠ 注意：接続コネクタの向き

接続コネクタの向きを確認の上、HDDを装着してください。



- ① HDDマウントユニットにHDDを添付のネジで固定します。
- ② HDDマウントユニットを本体に挿し込みます。
- ③ 手順①と逆の手順で、フタを取り付けます。

## 3 電源を入れる



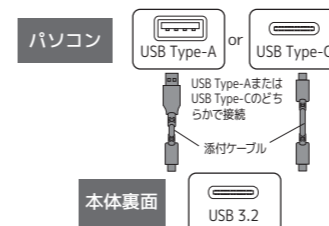
- ① ACアダプターを接続します。
- ② 電源スイッチをONにします。

電源スイッチをONにすると、天面の電源LED (青) が点灯します。

## 2 RAID の作成

### 1 パソコンに接続する

- ① パソコンの電源をONにします。
- ② 本体を USB ケーブル(添付品)で接続します。



接続すると自動的にドライバーがインストールされ、パソコンに認識されます。

### 2 DIPスイッチで動作モードを選択する

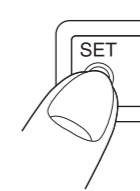
DIPスイッチ 本体背面にあるDIPスイッチで設定します。

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  | <b>RAID1</b><br>2台のHDDへ同時に書き込みをおこない、保存と同時にバックアップを作成します |  | <b>JBOD</b><br>2台のHDDをまとめて、1台の大容量HDDとして使用できます。 |
|  | <b>RAIDO</b><br>2台の同容量HDDを、1台の高速・大容量HDDとして使用できます。      |  | <b>SINGLE</b><br>2台のHDDを個々のドライブとして使用できます。      |

※DIPスイッチの操作は、先の硬くて細いものを使用してください。

## 3 RAIDを作成する

⚠ 注意 RAID 作成時、HDD に保存されているデータは削除されます。



- ① 本体背面にある動作モードSETボタンを長押し (5秒以上) します。
- ② 各HDDステータスLED (青) が早く点滅します。このとき、パソコンとの接続が一旦解除されますが、その後、自動的に設定したモードで再認識されます。

「3. デバイスの確認とフォーマット」に進んでください。

⚠ 注意：電源オフUSB充電機能対応のUSBポートには接続しない

電源プラグや稲妻 ( ) などのマークが表示されていないUSBポートに接続してください。

「電源オフ USB 充電機能」は、パソコンの電源がオフ、もしくはスリープや休止状態のときでも、USB 充電に対応した周辺機器を充電できる機能です。ご使用のパソコンの本機能への対応や、対応 USB ポートの位置については、パソコンの説明書等をご確認ください。パソコンメーカーによっては、「パワーオフUSB充電機能」「電源オフUSBチャージ機能」「Powershare 対応」「USB スリープアンドチャージ」などの名称で記載されています。

【制限事項】  
「電源オフ USB 充電機能」に対応した USB ポートに本製品を接続した状態でスリープから復帰すると、USB デバイスの取り外しと再認識がおこなわれるために、次の現象が発生することがあります。

- 通知領域に、周辺機器を認識したことを知らせるメッセージが表示される
- 「自動再生」が表示される
- 本製品に割り当てられたドライブ名が変わる
- 連携しているアプリまたはソフトウェアが起動する

なお、現象が発生しても本製品やデータが破損することはありません。スリープからの復帰時、必ず、本製品が再認識したこと〔コンピュータ〕や〔マイコンピュータ〕に表示されていることを確認のうえ、コピーや移動の再開操作をおこなってください。

## 3 デバイスの確認とフォーマット

⚠ 注意

- フォーマットをおこなうとHDD上のデータはすべて消去されます。

### Windowsの場合

- 1 コンピューターの管理画面を開きます。  
① デスクトップ画面で、Windowsキーを押しながらXキーを押します。  
② 表示された一覧から【コンピューターの管理】をクリックします。
- 2 デバイスマネージャーでドライブが認識されているか確認します。  
① 【デバイスマネージャー】を選択します。  
② 【ディスクドライブ】をダブルクリックします。  
接続しているHDDが表示されている場合、接続機器は正しく認識されています。

裏面にづく

